

第5学年 外国語科学習指導案

指導者 三枝 英太郎

ALT Tom Stone

1 単元名

I want to go to Italy. ～自分のおすすめの国を ALT の家族に紹介しよう～

(Here We Go!5 Unit6)

2 単元について

○教材観

本単元では、「Where do you want to go?」「I want to go to ….」「You can see[visit/eat/buy/drink] …。」などの表現を用いて、その国の観光名所や地域を紹介したり、できることを伝えたりしながら、自分の行ってみたい国・おすすめの本国を紹介する。さらに、既習事項である「I like ….」「It's ….」「This is ….」などの表現を使い、その国のよさや文化といったおすすめする理由について、自分の考えや気持ちを伝える活動に取り組む。

本単元のゴールとして、日本に来る際、他の国にも行きたいと思っている ALT のトム先生の家族に、その国に行ってみたくて思ってもらえるように、自分の行ってみたい国・おすすめの本国を紹介する活動を設定している。たくさんある国の中で、その国を訪れることのよさを教えて欲しいという場面・状況を設定する。その思いに対して自分の考えや気持ちを反映させ、その国のよさを実際にプレゼンテーションするという目的を付与することで、相手意識や目的意識をもち、学習活動に必然性が生まれ、自ら学ぶ姿勢が自然に形成されていくことが期待される。また、おすすめする国について詳しく調べる中で、日本とは異なる文化や価値観があることにも気づき、グローバルな視点をもつことができるよい機会になるだろう。

○児童観

①生活面・学習面について

本学級は、17名の学級である。特に外国語科の学習を中心に、対話的な活動を通して意見を交流する経験を積んできている。そのため、自分の思いや願い、気持ちを表現しようとする児童が徐々に増えてきている傾向にある。その一方、単元のゴールで行うパフォーマンステストの発表では、緊張してしまい、日頃話せていることが言えなくなってしまう児童も多い。「外国語=難しい」という潜在的な壁をもっている児童が数名見受けられる。

外国語科に関する意識調査(5月)によると、「スピーチなど、英語で自分の考えや気持ちなどを発表しているか」という問いに対して、「そう思う・どちらかというと思う」と回答した児童が、55.6%という現状である。その他の児童44.4%は「あまりそう思わない」に回答している。学級の中でも分割されてしまっている。一方で、「単元の終わりに、英語を使って話したり、発表したりするときに、授業で取り組んできたことを生かしているか」という問いに対しては、「そう思う・どちらかというと思う」と回答した児童が、83.8%と肯定的な回答をしている。つまり、学習に関しては意欲的であり、学習の過程を意識しながら取り組んでいる児童が大半を占めていることが分かる。しかし、学習に対しての自分の思いや願い、気持ちが反映できていない現状にある。そこで、本単元では、単元のゴールの必然性を高められるような目的・場面・状況を設定していく必要があると考えられる。

②Web Q-U について

4月に行われた Q-U 調査から、本学級は「学級生活満足群」に属している児童の割合が全体の 70%となっている。その結果から、本学級は「親和型-安定-活用」であり、学級全体に前向きに学習しようとする気持ちが高まっていると判定されている。

○指導観

指導に当たって、本単元では「日本に来る際、他の国にも行きたいと思っているトム先生の家族に、その国に行ってみたくて思ってもらえるように、おすすめの国を詳しく紹介したビデオレターを送ろう。」という単元のゴールに向けて、児童が I want to go to … In …, you can see[eat/drink/visit/buy] …使って、その国をおすすめする理由やそこでできることなどの内容を整理し、自分の考えや気持ち等を交えて、発表する力を育成していきたい。相手意識を醸成するために、単元のゴールを示すだけでなく、紹介する対象者であるトム先生の家族が欲している情報を事前に共有していく。その中で、どうしたら自分のおすすめする国の良さが伝わりやすくなるのか、児童自身が気づき、表現できるようにしていきたい。そのために、ALT の見本動画やデジタル教科書の動画を通して、「I like …」「It's …」「This is …」などの既習事項が本単元でも使用可能であることに気づき、それらの表現がおすすめする国の理由を考えようとする児童の思考の手助けとなる。また、話すこと[発表]は、友達とのやり取りによって支えられ、進展を図っていくものであると考えている。そのため、単元を通して言語活動の充実を図る際に、聞き手側も話し手側のスピーチを聞きながら「言い換え・リアクション・質問」を意識したやり取りを行っていききたい。特に、質問については「Can you …?」「Do you like …?」「What … do you like?」「Why?」などを用いることで、話し手が今まで気づけなかった視点を与えることができたり、聞き手の知りたい情報を考えるようになり、よりよい相手意識の醸成にもつなげたりすることができる。加えて、やり取りを行う時にいくつかの質問をし、スピーチをする際にも、要点を抑えて「問いかけ(質問)」をすることで、聞き手を惹きつけられることに気づく児童も出てくることを期待している。質問に苦手意識をもっている児童にとって、思考の手立てとなるように、教師のモデリングで明示したり、やり取りの際に個別に指導したりしていきたい。

さらに、主体的・対話的で深い学びの実現のために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子ども主体の学びを展開していきたいと考える。外国語の特性上、音声で理解し、4技能を統合しつつ繰り返し使用することで定着を図っていくことになるが、本学級の児童には、理解から定着までの習熟スピードに差が見られる。そこで、学習の個性化・指導の個別化が必要になる。学習の個性化を実現するために、「単元のゴールを明示・具体的な姿の提示」「単元計画を児童と作成」「単元を通して目指す姿を明示したルーブリック評価の確認」を単元の始めに行う。本単元の学習の方向性を示し、児童自身がどのように学んでいくのかを選択できる環境を整えていきたい。また、学習の最中には「毎時間、単元のゴールを実現するための個々の課題設定」「学習方法の選択」「やり取りする友達を選択」「児童が使いたいタイミングでのデジタル教科書の活用」「よりよい表現に気づくための ALT の動画視聴」を行い、学習の個性化を図り、児童の主体的な学びを実現していく。このような学び方を適切に具現化していくために、指導の個別化である「必要に応じた個々への指導」を行い、外国語表現の適正化や表現内容の充実を図っていく。さらに、教師の意図的な指導として、「毎時間の単元のゴールの確認・ルーブリック評価の確認」「外国語科の見方・考え方を意識した中間指導」「振り返りや児童の撮影動画への教師からのフィードバック」「授業の初めと終わりの自己の変容を動画で確認」等を行い、児童一人一人それぞれが単元のゴールに向かって、粘り強く・自らの学習を調整しながら着実に学習できるように支援していきたい。このような、学びのプロセスを定型化し児童が安心して学べる場を作っていく。また、協働的な学びにおいては、毎時間の言語活動を通して、他者の視点を獲得しながら内容をより豊かにしていく。それ以外にも、甲州市立井尻小学校の5年生のスピーチ動画を5時間目に視聴することで、定型的な環境から一新し、新たな視点を得られるようにしていきたい。

これらの学びを支えるために、クラウド化された学習環境を整えていきたい。特に Google Classroom を活用し、学習に必要な動画や振り返りシート、単元計画表、ルーブリックを一括管理できるようにしていく。児童の思考の表出、整理・分析には Jamboard を活用し、他者参照を素早く行えるようにしていく。また、個々の課題設定の際には、Googleチャットを活用し、この時間で何を中心に学ぶのかを学級で共有することで、児童同士の学びを繋いでいきたい。さらに、撮影した動画はGoogleドライブに一括保存し、いつでも誰でも閲覧できるようにする。このように、直接的なやり取りやクラウドを介した学びといった、同期型・非同期型の学びを実現していきたい。

小中高連携の視点として、「言語活動を中心に据えた単元計画」「話すこと(やり取り)を軸にした言語活動の設定」「ICT 端末を活用した授業デザイン」を念頭に置いた単元計画を行った。特に小中連携を意識し、授業デザインの在り方についても配慮していきたい。

3 校内研との関わり

研究主題である「深く学び、考える児童の育成～各教科における見方・考え方を働かせる授業づくり～」に迫るために、外国語科の見方・考え方の捉え方について明確に整理していく。そして、学習の中で探究サイクルをもとに、児童が見方・考え方を働かせることで、「知識・技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう力・人間性」を総合的に活用し、深く学び、考える児童の育成を実現していく。

外国語科における見方・考え方を整理すると以下のように捉えることができる。と考える。

見方・・・目的・場面・状況に視点を合わせた思考の在り方(情報収集)
 考え方・・・内容面での工夫や表現面での正確性を追い求めたり、問いただしたりする力(整理・分析)

これらの見方・考え方を、ICT 機器を活用してクラウド上で児童に事前に提示することで、常に意識しながら学習を進めることができるような環境を整えていく。加えて、中間指導においても、見方・考え方を働かせている児童の紹介を行っていく。このように、児童が自ら見方・考え方を働かせる部分と、教師が意図して見方・考え方を伝えていく部分に分けていくことで、深い学びを実現できるようにしていく。見方・考え方を働かせるには、思考するための十分な時間を確保する必要がある。そのため、個別最適で協働的な学びを往還していく中で、単元全体を通して、探求サイクルの情報収集、整理・分析の割合を多くとり、児童が自由に考える時間を確保していきたい。

また、外国語科において、見方・考え方を働かせるためには、相手意識・目的意識をもたせ、自分事として捉えさせることによって、児童の主体性を向上させることは必須である。そのため、目的・場面・状況を適切に整えた単元のゴールを提示していく。さらに、外国語科においては、言語活動を中心に据えた指導を行うため、他者とやり取りをしていく中で、研究主題の実現を図っていく。

4 単元の目標

日本に来る際、他の国にも行きたいと思っている ALT の家族に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために、そこでできることなどについて内容を整理した上で、自分の考えや気持ち等を発表することができる。

5 単元の言語材料

○表現

In ..., you can see [visit/eat/drink/buy]... Where do you want to go? I want to go to...
 Why? I want to ... I like ... It's ... I can ... Do you like ...? What ... do you like?

○語彙

国など(Brazil, Canada, China, Egypt, Germany, India, Italy, Japan, Korea, Peru, Rome, Thailand, the U.K., the U.S.)

活動(see, eat, buy, go to, drink, visit), 食べ物(curry, etc...), Sorry, Where, Why

6 CAN-DO リスト形式での学習到達目標(第5学年)

話すこと[発表]
学校生活や地域のことについて、自分の考えやその理由等を整理した上で、既習の語句や本単元で使用する基本的な表現等を用いて話すことができる。
*自分の考え・・・ I want to go to ... +α I like ... I want to ...

*理由… In …, you can see [visit/eat/drink/buy]….

*等… Do you …? What … do you …? It's [味・性質].

関係する領域別目標：話すこと[発表](ウ)

7 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	<p>〈知識〉 I want to go to ….In …, you can …などの表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 自分が行ってみたい国・おすすめ の国や地域とその理由について。 I want to go to ….In …, you can ….及び、その関連語句など を用いて、自分の考えや気持ち などを話す技能を身に付けてい る。</p>	<p>相手に自分が行ってみたい国・ おすすめする国の魅力を紹介す るために、その国でできることや おすすめする理由などについて、 自分の考えや気持ちなどを整理 して発表している。</p>	<p>相手に自分が行ってみたい国・ おすすめする国の魅力を紹介す るために、その国でできることや おすすめする理由などについて、 自分の考えや気持ちなどを整理 して発表しようとしている。</p>

8 単元の指導と評価の計画(全8時間)

時 数	目標(◆) 主な活動(○) アクティビティ(・) 紙面化されている活動(【 】)	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆おすすめしたい国について、動画や教師の Small talk を聞いたり、教師とやり取りしたりすることを通して、おすすめしたい国を尋ねたり答えたりする。</p> <p>○【Story】p72,73</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面の情報を全体で確認する。 ・大まかな内容(場面・人物)を聞き取ったり、使用している言語材料に注目したりしながら、全体で3回アニメーション動画を見る。 ・本単元で学習する内容である、「おすすめしたい国について発表する」ことを知り、ALTの家族が日本に来る際、他の国にも行ってみたいことを英語で話している動画を見せ、単元のゴールを設定する。 <p>単元のゴール 日本に来る際、他の国にも行きたいと思っているトム先生の家族に、その国に行ってみたくて思ってもらえるように、おすすめの国を詳しく紹介したビデオレターを送ろう。</p> <p>○単元の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、学習班ごとに Story を視聴し、学習に必要な言語材料を探す。その後、全体で交流しながら、必要な言語材料につ 				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>いて, Jamboard にまとめていく。</p> <p>○Vocabulary ・国名を ALT と会話しながら練習する。</p> <p>○Let's talk ・教師や ALT が行ってみたい国について, やり取りをしつつ, 児童にも話しかけ, 表現を使用していく。</p> <p>○Review time ・今日の振り返りを書く。</p>			
2	<p>◆おすすめしたい国について, 教師や友達と何度もやり取りすることを通して, 尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Vocabulary ・国名と動詞を ALT と会話しながら練習する。</p> <p>○Today's goal ・今日のめあてを確認する。</p> <p>○ALT の家族が海外でやってみたいことを英語で紹介する動画を見て, 紹介する国を決める。</p> <p>○Let's Watch ・ALT がおすすめする国を紹介するプレゼンテーションを見て, 単元のゴールの状態を知る。その後, ルーブリック表を児童と一緒に確認していく。</p> <p>○Let's talk ・教師や ALT が好きな国や行ってみたい国について話しつつ, 児童にも話しかけ, おすすめしたい国について児童同士でやり取りをする。</p> <p>○Take a video ・やり取りの様子を撮影し, クラウド上へ提出する。</p> <p>○Review time ・今日の振り返りを書く。</p>			★本時では, 目標に向けて指導は行いが, 記録に残す評価は行わない。
3	<p>◆おすすめしたい国について, 教師や友達とのやり取りを通して, 行ってみたい理由やおすすめする理由などの自分の考えを加えて伝える。</p> <p>○Small talk[T-S,S-S] ・「Where do you want to go?(友達の趣味に合わせる)」</p> <p>○Today's goal ・単元のゴール(目的・場面・状況)も確認する。</p> <p>○Let's watch & Thinking time ・ALT が様々な言語材料を用いたプレゼンテーションを行う。本時で付け加えたい表現を児童が選択し, チャットにて交流する。(ガイダンスシート)</p> <p>○Let's talk&Thinking time ・聞き取った表現を確認し, 教師が児童とやり取りをしながら, 徐々に児童同士のコミュニケーションへとつなげていく。 ・紹介する文の順序を入れ替えたり, 内容を付け加えたりしたことのメモをする。</p>	発		○「I want to go to …」などの表現について理解している。 〈行動観察・提出動画〉

	<p>○Take a video ・やり取りの様子を撮影し、クラウド上へ提出する。</p> <p>○Review time ・今日の振り返りを書く。</p>			
4	<p>◆おすすめしたい国について、教師や友達と尋ねたり答えたりする活動を通して、伝えたい内容を整理して、行ってみたい国やそこでできることを紹介することができる。</p> <p>○Small talk[T-S] ・「What country is this?」クイズ形式で、You can see[visit/eat/drink/buy]…It’s …I want to go to…を使用する。</p> <p>○Today’s goal ・単元のゴール(目的・場面・状況)も確認する。</p> <p>○Let’s watch & Thinking time ・ALT が様々な言語材料を用いたプレゼンテーションを行う。本時付け加えたい表現を見童が選択し、チャットにて交流する。(ガイダンスシート)</p> <p>○Let’s talk&Thinking time ・聞き取った表現を確認し、教師が見童とやり取りをしながら、徐々に見童同士のコミュニケーションへとつなげていく。 ・紹介する文の順序を入れ替えたり、内容を付け加えたりしたことのメモをする。</p> <p>○Take a video ・発表の様子を撮影し、クラウド上へ提出する。</p> <p>○Review time ・今日の振り返りを書く。</p>	発		<p>○In …, you can …. などの表現について理解している。〈行動観察・提出動画〉</p>
5	<p>◆おすすめしたい国について、教師や他校の紹介文を聞いたり、やり取りしたりする活動を通して、伝えたい内容を整理して、行ってみたい国やそこでできることを紹介することができる。</p> <p>○Today’s goal ・単元のゴール(目的・場面・状況)も確認する。</p> <p>○Let’s watch & Thinking time ・ALT が様々な言語材料を用いたプレゼンテーションを行う。本時付け加えたい表現を見童が選択し、チャットにて交流する。(ガイダンスシート)</p> <p>○Let’s talk&Thinking time ・見童同士がやり取りをしながら、紹介文を考える。 ・紹介する文の順序を入れ替えたり、内容を付け加えたりしたことのメモをする。</p> <p>○Let’s watch ・井尻小学校の5年生の紹介動画を見る。新たな視点や気づきを得られるようにする。</p> <p>○Let’s talk&Thinking time</p>	発		<p>○自分が行ってみたい国・おすすめの国や地域とその理由について、I want to go to …In …, you can …及び、その関連語句などを用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。〈行動観察・提出動画〉</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士がやり取りをしながら、紹介文を考える。 ・紹介する文の順序を入れ替えたり、内容を付け加えたりしたことのメモをする。 ○Take a video ・発表の様子を撮影し、クラウド上へ提出する。 ○Review time ・今日の振り返りを書く。 				
6 本 時	<p>◆おすすめしたい国について、教師や友達と尋ねたり答えたりする活動を通して、伝えたい内容を整理して、行ってみたい国やそこでできることを紹介することができる。</p> <p>○Today's goal</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴール(目的・場面・状況)も確認する。 <p>○Let's watch & Thinking time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT が様々な言語材料を用いたプレゼンテーションを行う。本時付け加えたい表現を児童が選択し、チャットにて交流する。(ガイダンスシート) <p>○Let's talk&Thinking time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童同士がやり取りをしながら、紹介文を考える。 ・紹介する文の順序を入れ替えたり、内容を付け加えたりしたことのメモをする。 <p>○Take a video</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子を撮影し、クラウド上へ提出する。 <p>○Review time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の振り返りを書く。 		発	発	<p>○相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために、その国でできることやおすすめする理由などについて、自分の考えや気持ちなどを整理して発表している。〈行動観察・提出動画・振り返りシート記述点検〉</p> <p>○相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために、その国でできることやおすすめする理由などについて、自分の考えや気持ちなどを整理して発表しようとしている。〈行動観察・提出動画・振り返りシート記述点検〉</p>
7	<p>◆おすすめしたい国について、プレゼン形式で写真などの情報を見せて友達に伝える活動を通して、伝えたい内容を整理して、行ってみたい国やそこでできることを紹介することができる。</p> <p>○Today's goal</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴール(目的・場面・状況)も確認する。 <p>○Let's watch & Thinking time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT が様々な言語材料を用いたプレゼンテーションを行う。本時付け加えたい表現を児童が選択し、チャットにて交流する。(ガイダンスシート) <p>○Let's talk&Thinking time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童同士がやり取りをしながら、紹介文を考える。 ・紹介する文の順序を入れ替えたり、内容を付け加えたりしたことのメモをする。 		発		<p>◎I want to go to ...In ..., you can ...などの表現について理解している。〈行動観察・提出動画〉</p>

	<p>○Take a video</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子を撮影し、クラウド上へ提出する。 <p>○Make a presentation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表に必要な情報を Google スライドで作成する。 <p>○Review time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の振り返りを書く。 				
8	<p>◆おすすめしたい国について,ALT の家族に写真や絵,簡単な表現を用いて紹介する活動を通して,行ってみたい国やそこで行けることなどの内容を整理して紹介することができる。</p> <p>○Today's goal</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴール(目的・場面・状況)も確認する。 <p>○Let's try</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのグループに分かれて,おすすめしたい国について紹介をする。最終的には,どの国のプレゼンが良かったか選択してもらう。 ・発表動画を撮影しておく。 <p>○Review time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の振り返りを書く。 	発	発	発	<p>◎自分が行ってみたい国・おすすめの国や地域とその理由について. I want to go to … .In … , you can … .及び,その関連語句などを用いて,自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。 〈行動観察・提出動画〉</p> <p>◎相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために,その国でできることやおすすめする理由などについて,自分の考えや気持ちなどを整理して発表している。 〈行動観察・提出動画・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために,その国でできることやおすすめする理由などについて,自分の考えや気持ちなどを整理して発表しようとしている。〈行動観察・提出動画・振り返りシート記述点検〉</p>

○単元末に行うパフォーマンステスト

日本に来る際、他の国にも行きたいと思っているトム先生の家族に、その国に行ってみたいと思ってもらえるように、おすすめの本を詳しく紹介したビデオレターを送ろう。

○評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	I want to go to … In …, you can …などの表現を理解し、それらを正しく用いて、その国に行きたい理由やその国でできることを紹介することができる。	自分が行ってみたい国・おすすめする国を紹介するという目的に応じたり、相手の状況に合わせてたりして、その国でできることやおすすめする理由などについて、自分の考えや気持ちなどを整理して発表することができる。	自分が行ってみたい国・おすすめする国を紹介するという目的に応じたり、相手の状況に合わせてたりして、その国でできることやおすすめする理由などについて、自分の考えや気持ちなどを整理して発表しようとしている。
B	一部誤りが見られたりするが、I want to go to … In …, you can …の表現を用いて、その国に行きたい理由やその国でできることを紹介することができる。	自分が行ってみたい国・おすすめする国を紹介するという目的に応じて、その国でできることについて、整理して発表することができる。	自分が行ってみたい国・おすすめする国を紹介するという目的に応じて、その国でできることについて、整理して発表しようとしている。
C	Bを満たしていない。	Bを満たしていない。	Bを満たしていない。

○想定されるパフォーマンス (B)

(B) Hello. My name is Sota.
 I want to go to Brazil.
 In Brazil, you can see the Iguazu Falls.
 You can eat churrasco.
 You can visit Corcovado Hill.
 Let's go to Brazil. Thank you.

9 本時の学習

(1)日時 令和5年11月28日(火)

(2)場所 甲州市立塩山北小学校 体育館

(3)目標

おすすめしたい国について、教師や友達と尋ねたり答えたりする活動を通して、伝えたい内容を整理して、行ってみたい国やそこでできることを紹介することができる。

(4)展開例

時間	児童の活動 *予想される児童の反応	指導者の活動 HRT:H ALT:A	指導上の留意点 ○評価規準 〈評価方法〉
1分	I Greeting ・ALTと簡単な会話をする。	A:全体にあいさつをして、自分の気分や最近の話をする。	

	<p>2 Today's goal</p> <p>・単元のゴールを確認し,流れを意識した上で,本時のめあてを確認する。</p>	<p>H:単元のゴール(目的・場面・状況=見方)とルーブリック表を掲示し,目標を意識させる。</p> <p>H:単元計画を見せて,何を学んできたのかを想起させたり,ゴールまでの活動を逆算して自分のやるべきことを予想させたりする。</p>	<p>大型提示装置</p>
<p>トム先生の家族に行ってみたいと思ってもらえるように,自分のおすすめする国について内容を詳しくしたり工夫したりしながら自分の考えや気持ちを伝え合おう。</p>			
<p>課題設定</p> <p>7分</p>	<p>*内容を付け加える(I like ….It's ….)</p> <p>*相手が欲しい情報を入れる</p> <p>*順番を入れ替える</p> <p>*行ってみたいと思ってもらえるようにする</p> <p>*聞き手をひきつける質問をする</p> <p>3 Let's watch</p> <p>・前時に撮影した自分の動画を見て,現状を把握する。</p> <p>・ALT が様々な言語材料を用いたプレゼンテーションを行う。目的・場面・状況を意識して,本時付け加えたい表現や本時で頑張りたいことを児童が選択し, Google チャットで交流する。</p>	<p>H:本授業でのポイントは詳しくすること・工夫することだということを意識するために,「詳しくするとは?工夫とは?」について教師が問いかける。</p> <p>A:児童とやり取りをしながら,デモンストレーションを行う。</p> <p>H:ALT のデモンストレーションに適宜リアクションや質問を入れる。</p> <p>H:自分の動画を視聴するよう指示をする。</p> <p>H:同じ動画が Google クラスルーム内にあることを伝え,視聴する中で,目的・場面・状況を意識しながら自分の課題に対して必要な言語材料を探すように声掛けをする。</p> <p>H:めあての文例を白板に掲示する。</p>	<p>Google チャット</p>
<p>ALT の発表例</p> <p>Hello. My name is Tom Stone.</p> <p>I want to go to Korea.</p> <p>In Korea, you can go to Lotte World. I like roller coasters.</p> <p>Do you like roller coasters?</p> <p>That's nice.</p> <p>You can go to Shinsegae Department Store.</p> <p>You can go shopping. It's big.</p> <p>You can eat milmyeon.</p> <p>I like milmyeon. It's delicious.</p> <p>Do you like noodles?</p> <p>I like ramen, too.</p> <p>You can go to Haeundae Beach.</p> <p>I can swim. Can you swim?</p> <p>That's nice.</p> <p>Let's go to Korea together.</p>		<p>H:めあての文例を白板に掲示する。</p>	<p>めあての文例</p>
<p>めあての文例</p> <p>・～を意識して,・・・を付け加える。</p> <p>・～を意識して,・・・をがんばる。</p> <p>・～を意識して,・・・する。</p> <p>・～を意識して,・・・の質問を加える。</p>			

<p>情報収集</p> <p>3分</p>	<p>4 Thinking time</p> <p>・課題に対して自分に必要な表現方法を練習したり、探したりする。</p> <p>情報収集の方法</p> <p>①デジタル教科書のワードボックス ②ALTの見本動画 ③参考になる友達の動画</p> <p>④デジタル教科書のStory・Let's watch・Let's listen・Let's chant ⑤先生に聞きに行く</p> <p>⑥インターネットで調べる(誰にでも意味が分かるように工夫する)</p> <p>ポイント</p> <p>・話すことが中心 意味を考えながら聞く ・どんな場面でその表現が使えるのか考えながら聞く</p> <p>練習方法</p> <p>(ゆっくり聞く・繰り返し聞く・声に出して練習する・先生と練習する・友達と会話形式で練習する)</p>	<p>H/A:前時までの内容に指導が必要な児童には、個別に指導を行う。</p>	<p>ガイダンスシート</p>
<p>整理・分析</p> <p>25分</p>	<p>5 Let's talk&Thinking time</p> <p>・おすすめしたい国について、児童が相手を選択しながらやり取りを行い、紹介文を考える。</p> <p>相手を選択する基準</p> <p>①まだ会話をしたことがない人</p> <p>②動画を視聴して参考になりそうな人</p> <p>③以前、やり取りしてすごいと思った人</p> <p>・紹介する内容を付け加えたことのメモをする。</p> <p>・やり取りをしながら、見本の動画を見たり、デジタル教科書を見たりして、自分の課題を解決していく。</p> <p>・参考になりそうな友達のやり取りを見させてもらう。</p> <p>・ループリック表にある、表現や相手意識、目的意識を意識しながら、友達とやり取りを行う。</p>	<p>H:活動の流れを確認する。</p> <p>A:ループリック表を大型提示装置に投影し、確認しつつやり取りを行うように声を掛ける。</p> <p>H/A:言語面で困っている児童や、内容面で充実している児童を見つけ、中間指導に生かせるように巡視する。</p> <p>H/A:活動の途中で、言語面(考え方)での不安を抱えている児童への中間指導を行う。(1回目)内容面(考え方)で、相手意識をもった表現をしている児童に発表してもらい、その良さをさぐるように中間指導を行う。(2回目)</p> <p>H:1回目の中間指導では、「何を・何のために・どんなこと」を問い、簡単に言い換えられるようにする。</p> <p>H:2回目の中間指導では、できるだけ言語活動の中で指導していくために、教師が英語で質問しながら内容に気付かせていく。(Do you …? What … do you …? I'm … I want to ….)児童の到達度に応じて、単元のゴールを直接的に児童に問い、目的・場面・状況を整理する場合もある。</p> <p>H:自分の紹介文に生かせそうな内容を話している友達のやり取りを見させてもらうように声掛けを行う。</p>	<p>○相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために、その国でできることやおすすめする理由などについて、自分の考えや気持ちなどを整理して発表している。〈行動観察・提出動画・振り返りシート記述点検〉</p> <p>○相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために、その国でできることやおすすめする理由などについて、自分の考えや気持ちなどを整理して発表しようとしている。〈行動観察・提出動画・振り返りシート記述点検〉</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 活動の詳細 1 ペアでやり取り(思い出したり, 言いたいことを言ってみたりする) 2 中間指導(言語面:表現方法が分からないものを解決する) 3 ペアでやり取り(表現を訂正しつつ, 言語面以外での工夫を行うことを目指す) 4 中間指導(内容面:~の欲している情報を入れている。自分の意見を付け加えている。理由について詳しく言っている。等を紹介し, 子どもがその良さに気づくようにする) 5 ペアでやり取り(自分が思う工夫を行う・内容を詳しくする) </div>		
ま と め ・ 表 現 5 分	6 Take a video ・これまでのやり取りを生かした, 自分の発表の様子を撮影し, クラウド上へ提出する。 ・ループリック評価をもとにして到達度の高い児童の動画を紹介する。	H:端末でスピーチの様子を撮影し, 動画を Google クラスルームへ提出するよう指示をする。 A:言語面で困っている児童の補助を行う。 H:到達度の高い児童を見つけ, 動画で共有し, その良さを全体で確かめる。	
振 り 返 り 4 分	7 Review time ・Google スプレッドシートを使って, 振り返りの視点をもとに, 今日の振り返りを書く。 ・自己評価を行う(自分が立てた本時の目標とループリック表とを照らし合わせて評価を行う。)	H:振り返りを書く際に, 振り返りの視点を意識しながら書くように指示する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 振り返りの視点 ・友達と会話をして学んだこと ・動画を聞いて学んだこと ・友達のすごいと思ったこと ・参考にしたいと思ったこと ・もっと~してみたいと思ったこと ・~のようによりよくできた ・次回への課題は? </div>		

(5) 評価

○評価規準

・相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために, その国でできることやおすすめする理由などについて, 自分の考えや気持ちなどを整理して発表している。

(思考・判断・表現)

・相手に自分が行ってみたい国・おすすめする国の魅力を紹介するために, その国でできることやおすすめする理由などについて, 自分の考えや気持ちなどを整理して発表しようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

○評価の具体

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	Bを満たし, I like …, I want to …など, 自分の考えや気持ちを入れたり, 聞き手を惹きつけるために, 質問などをしたりしながら, 自分のおすすめする国を紹介することができる。	Bを満たし, 友達の意見を取り入れたり, 例示された動画やデモンストレーションを見て自己のスピーチ内容の付加修正を行ったりする等, 自己の学びを調整することができる。
B	ALTの家族が自分のおすすめする国に行ってみたいと思ってもらえるように, その国でできることについて相手に伝えたり, その良さについて付け加えたりして, 自分の考えや気持ちなどを整理して発表することができる。	ALTの家族が自分の紹介する国に行ってみたいと思ってもらえるように, その国でできることについて相手に伝えたり, その良さについて付け加えたりするなど, 粘り強く取り組もうとしている。
C	Bを満たさない。	Bを満たさない。

○想定される発表内容

(A) Hello. My name is Sota.
 I want to go to Brazil.
 In Brazil, you can see the Iguazu Falls.
 It's beautiful.
 I like waterfalls.
 Do you like waterfalls?
 That's great.
 You can eat churrasco.
 It's delicious.
 Do you like soccer?
 Me too.
 What soccer player do you like?
 I like Neymar.
 Wow, wonderful.
 Do you want to go to Brazil?
 Let's go to Brazil. Thank you.

(B) Hello. My name is Sota.
 I want to go to Brazil.
 In Brazil, you can see the Iguazu Falls.
 You can eat churrasco.
 You can visit Corcovado Hill.
 Let's go to Brazil. Thank you.

(6) 資料

○ガイダンスシート

Unit6 I want to go to Italy.					
使い方	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集の10分間のうち、【3～5分間】を使って自分が使いたい表現を見つけたり練習したりしよう。 前の時間の自分の動画を見て、付け加えたいことや順番を入れ替えてみたいことを探するために使おう。 下の表の内容を見て、見当をつけて動画を見よう。 				
聞き取り方	<ul style="list-style-type: none"> どんな内容を話しているのか場面を想像して聞く。 「誰が」→「何をする」→（「どこで」）のか考えながら聞く。 どんな場面で使えそうなのか考えて聞く。 				
練習の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取りたいポイントを決めて聞く。 分かるまで、ゆっくり聞いたり、繰り返し聞いたりする。 声に出して練習する。 友達と会話をしながら練習する。 先生たちと一緒に練習する。 意味がわからない言葉を先生に質問しに行く。 				
情報収集用参考一覧表	パターン①	デジタル教科書のワードボックス【Unit6】【5食べ物・6飲み物・7果物と野菜・12町・14生き物など・16気持ち・21活動・22スポーツ・23国】を見て、基本的な表現や単語の練習をする。			
	パターン②	トム先生の見本動画を見て、使えそうな表現を見つけたり、話す順序について考える。			
	パターン③	先生と一緒に分からなところを練習する。			
	パターン④	参考になりそうな友達の動画を見たり、質問に行き、使い方を理解する。			
	パターン⑤	ページ	アクティビティ	内容	おすすめポイント
		p72	Story	<ul style="list-style-type: none"> 単元で勉強する内容が全て入っている。 In ... , you can see[visit/swim/eat]を使った主な表現あり。 相手が行きたい国について質問する表現あり。 	リアクションの仕方がたくさん入っています。真似してみよう！
		p74	Let's watch	<ul style="list-style-type: none"> ペルーで行くことができる場所の表現あり。 その国の良さを表す表現あり。 	その国の良さを表す表現は何か注意して聞こう。
		p74	Let's listen	<ul style="list-style-type: none"> 外国でできることについての表現がたくさんある。 その国の良さを説明する表現あり。 	スピーチで使える基本的な表現がある！少し難しいけど、その国の良さについて説明する表現がある。できたら使ってみよう。
		p74	Let's chant	You can~, の練習。	言い方になれるために使おう。
		p76	Let's watch	<ul style="list-style-type: none"> 自分が外国でやってみたいことの表現あり。 会話を続けるための表現あり。 	自分がしたいことについての表現に切り替わっているね。単元のゴールを確認して、自分ならどうするか考えよう。
p76	Let's listen	<ul style="list-style-type: none"> どこの国に行きたいかについて、やり取りの仕方の見本あり。 自分が外国でやってみたいことの表現あり。 	自分がやってみたいことと、その国でできること、この2つの違いについて理解して使おう。最終的には、トム先生の家族におすすめの国を紹介するよ。		
p76	Let's chant	自分が外国でやってみたいことの表現あり。	言い方になれるために使おう。		
パターン⑥	インターネットで調べる。（誰にでも意味が分かるように工夫する）				

○児童に提示するルーブリック

目指す姿 Unit6 I want to go to Italy.			
	<ul style="list-style-type: none"> 知っておくべき言葉 使えなければいけない言葉 	発表をよりよくしていくために必要なこと	学習する姿勢で必要なこと
意識すること	I want to go to ... In ... , you can []... Where do you want to go? 国名・活動・食べ物等	<ul style="list-style-type: none"> 何のためにスピーチをするのか意識している 相手の状況に合わせて内容を考えている Do you ~? What ~ do you ~? 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対する粘り強さ 学習する内容を自分で調整する姿勢
A	使うべき言葉を正確（間違わずに・間違いに気づいて直して）に使って話すことができる。	Bを満たしていて、 ・ トム先生の家族の条件に合わせて、内容を付け加えたり、相手をひきつけるための【質問】を使ったりして、相手のことを考えた発表ができる。	Bを満たしていて、 他者の意見などを参考にしながら、トム先生の家族の条件に合わせて内容を付け加えたり、相手をひきつけるための【質問】を使ったりしようと努力している。
B	使うべき言葉を少し間違えながらも使って話すことができる。	自分が行ってみたい国・おすすめする国を紹介するという 目的に応じて、その国でできることについて、自分の考え（I want to ... I like ...）や気持ち（It's ...）などを整理（必要な情報を選ぶ）して発表することができる。	自分が行ってみたい国・おすすめする国を紹介するという目的に応じて、その国でできることについて、自分の考え（I want to ... I like ...）や気持ち（It's ...）などを整理（必要な情報を選ぶ）して発表しようと 粘り強く取り組んでいる。
C	Bを満たさない。	Bを満たさない	Bを満たさない。



【Unit6】学習の流れ 目指す姿 学習感想



三枝英太郎・0:22 (最終編集: 16:47)

- ★常に、単元のゴールを意識(今なんのために話しているのか)して、友達とコミュニケーションを取ろう。
- ★トム先生や三枝先生がどんなことを話しているのか(考えながら)聞こう。
- ★聞こえた言葉は(そのまま)積極的に声に出そう。
- ★ルーブリック評価をよく見て、自分の英語はどの程度なのか理解して、常により良いものを目指そう。
- ★友達の発言を参考にしよう。
- ★友達のために、たくさんリアクション・繰り返し・質問をしよう。

【単元の目標】

・日本に来る際、他の国にも行きたいと思っているトム先生の家族に、その国に行ってみたいと思ってもらえるように、おすすめの国を詳しく紹介したビデオレターを送ろう。

【評価のポイント】

・ルーブリック(目指す姿)をよく見よう。

【課題設定】

・ルーブリックをもとに、毎時間トム先生の見本動画と前の時間の自分の動画を見比べて、付け足したいことを見つけて課題設定しよう。

【情報収集】

・課題を解決するために必要な表現を様々な方法(トム先生の動画・デジタル教科書の動画・友達の動画など)で集めよう。《ガイドンスシート使用》《思考シート使用》

見方・・・「何のために・どんな場面で・誰と・どんな条件で」に注目して情報を集めよう。

【整理・分析】

・集めた情報をもとに、友達や先生とたくさんやり取りをして内容を確認しよう。

考え方・・・表現に間違いはないか、理由を加えたり、感想を加えたりしながら内容を工夫しているかを意識しよう。

【まとめ・表現】

・スピーチ動画を撮影して、授業の初めと終わりのスピーチの成長を見取ろう。《動画撮影》

【振り返り】

・視点を意識しながら、学習感想シートに学習の振り返りを書こう。今日の撮影した動画の自己評価をしよう。《学習感想シート》

単元のゴール
本に来る途中に海外旅行に行きたいと思っているトム先生の家族に、その国に行ってみたいと思ってもらえるように、おすすめの国を詳しく紹介したビデオレターを送ろう。

学習の流れ・目指す姿 Unit6
Google スライド

Do you like...?
Do you want...?
What? I do you like?
What? I do you want?
When?

Questionコーナー
Google スライド

Unit 6 Learning Reflection Sheet
This sheet is for students to write their reflections on the unit. It includes a space for the student's name and a space for the teacher's name. The sheet is designed to be used after the unit is completed.

【Unit6】学習感想シート
Google スプレッドシート

○学習感想シート

単元のゴール	日本に来る途中に海外旅行に行きたいと思っているトム先生の家族に、その国に行ってみたくて思ってもらえるように、おすすめの国を詳しく紹介したビデオレターを送ろう。															
トム先生の家族にどんなことを伝えたいと思いますか？																
1時間目	ダブルクリック		2時間目	ダブルクリック		3時間目	ダブルクリック		4時間目	ダブルクリック						
課題			課題			課題			課題							
振り返り			振り返り			振り返り			振り返り							
→			→			→			→							
課題に対する達成度			課題に対する達成度			課題に対する達成度			課題に対する達成度							
学習する態度			学習する態度			学習する態度			学習する態度							
8時間目	ダブルクリック		7時間目	ダブルクリック		6時間目	ダブルクリック		5時間目	ダブルクリック						
課題			課題			課題			課題							
振り返り			振り返り			振り返り			振り返り							
←			←			←			←							
課題に対する達成度			課題に対する達成度			課題に対する達成度			課題に対する達成度							
学習する態度			学習する態度			学習する態度			学習する態度							
↓			↓			↓			↓							
			達成度	S	O	A	O	B	O	学習態度	S	O	A	O	B	O
トム先生の家族にどんなことを伝えたいと思いますか？																

○思考シート

